

プログラムの概要

森林科学科の特色は、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの一連の流れを基軸とし、森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に学修する点にあります。本学科の授業科目は、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野から構成されているが、特に演習林を主体とした実践的野外実習が重視されており、森林に関わる専門分野の基礎から応用にいたる科目と、実習科目が有機的に組合わされたカリキュラムとなっています。

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

森林科学科では、以下の(A)～(G)を学修・教育目標として定め、これらを到達目標としています。修了認定は所定の単位を修得するとともに、学科独自の評価スコアを用います。学修・教育目標ごとに評価スコアの最低基準が設けられており、この基準を全て満たした場合修了が認定されます。

(A) 森林科学の学修を進める上で必要となる、語学、情報処理、専門基礎の知識と思考力を高め、地球的、地域的両面の視野から物事を判断、理解する能力を身につける。

(B) 栃木県内に展開する林業生産現場や演習林を活用し、森林の育成・管理から、生産・加工利用にいたる一連の生産活動の流れと森林の持つ多面的な機能を理解する。さらに、森林における生産活動が社会及び自然環境に及ぼす影響を総合的に理解し、評価する能力を身につける。

(C) 森林生態系及びその構成要素である生物に関する遺伝子レベルから生態系レベルまでの生物学的知識を修得し、生物多様性の保全、森林の育成・修復などの管理技術を身につける。

(D) 森林資源の持続的利活用のために必要となる計測技術、管理計画、森林政策に関する知識を修得する。また、森林の社会的な役割、位置づけを理解し、森林に関する管理計画、政策を立案する能力を身につける。

(E) 森林の保全と森林生産のための基盤整備に関する数学・物理学・工学的知識を修得する。また、森林生産に関する技術、環境への影響を理解し、作業システムをデザインできる能力を身につける。

(F) 森林資源の利活用を行うための生物学、化学、物理学などの専門知識を修得し、木質資源などの利用のための新技術を開発・活用できる能力を身につける。

(G) 森林科学全般の知識を基礎とし、森林資源の生産・利用現場からの要求に応えうる研究実行力、技術開発力、成果のまとめと公表が行える能力を身につける。また、研究・技術開発の成果が、社会及び生活環境に及ぼす影響を多面的な視点から理解する能力を身につける。

履修条件（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像

自然科学と社会科学の基礎学力を有し、持続可能な森林の育成、林業・林産業について実践的に学修しようとする人これらを判断するために、以下のような基本方針で入学者の選抜を行っています。

2. 入学者選抜の基本方針

高等学校の教育課程を尊重し、自然科学と社会科学の基本的な学力と思考力を備えているかどうか評価します。森林・林業分野への熱意、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

森林科学科では、授業の科目群を 1) 基軸科目（導入、総合）、2) 専門基礎科目群および 3) 専門科目群（育林学、森林社会科学、森林工学、林産学の4教育分野）の3つに区分しています。基軸科目（導入）は以後の学修をして行く上で不可欠な科目群であり、専門基礎科目は、各教育分野の専門科目を理解するのに必要と成る科目群です。また、専門科目は、森林科学の学生が必ず修得すべき学修領域が必修科目として設定されており、さらに各自が希望する専門選択科目を学修することによって森林、林業、林産業に対する専門知識を深めていく科目が設定されています。基軸科目（総合）は、森林科学の思想と技術を学修・修得した後、さらに専門化としての資質を高めるために設定された科目群です。これらの科目群について1～4年次に順次学修します。

宇都宮大学農学部森林科学科カリキュラムツリー

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	4 年次	
森林科学科の専門科目 フォロウアップとして履修が義務づけられる 森林・林業・林産業に関する専門知識を身につける 森林科学の全科目を履修する		育林学分野	育林学 森林立地地理学 森林病虫害論(病害) 森林病虫害論(虫害)	育林学実習 森林立地地理学実習 野生鳥獣管理実習 森林遺伝育種学	育林学総合実習 森林科学特別講義 I 森林科学特別講義 II	卒業論文			学修・教育目標 (G) 森林科学の発展を基礎とし、森林資源の生産・利用促進からの履修に応える研究実行力、種間関係力、成果のまとめと公表が行える能力を身につける。また、研究・実習部隊の運営が、社会及び生産現場に及ぼす影響を多面的な視点から理解する能力を身につける。 (H) 森林生産履歴及びその構成要素である生物・生態系に関する遺伝子レベルから生物多様性への広範囲での生物学的知識を習得し、生物多様性の保全、森林内の育成・管理などの管理計画を身につける。 (I) 森林資源の適切な活用のため必要となる計測技術、管理計画、森林政策に関する知識を習得する。また、森林の社会的価値を認識し、森林に関する管理計画、政策を立案する能力を身につける。 (J) 森林の保全と森林生産のための経営計画に関する数学・物理学・工学的知識を習得する。また、森林生産に関する技術、経営への影響を理解し、作業システムをデザインできる能力を身につける。 (K) 森林資源の活用を行うための生物学、化学、物理学などの専門知識を習得し、本学特許などの利用のための特許申請を支援し、活用できる能力を身につける。 (L) 他学期間に展開する林業生産履歴や演習科を活用し、森林の育成・管理から、生産・加工利用にいたる一連の生産活動の流れと森林の持つ多面的な機能を理解する。さらに、森林における生産活動が社会及び自然環境に及ぼす影響を総合的に理解し、評価する能力を身につける。 (M) 森林科学の学習を進める上で必要となる、語学、情報関連、専門基礎の知識と思考力を養成し、地球規模的視野の視野から問題を捉え、理解する能力を身につける。
		森林社会科学分野	森林社会学 森林計測学 森林生産経済学 森林計測学実習	森林計画学 森林空間情報工学 森林法学 森林政策学	森林計測学実習 森林計測学実習 森林政策学実習 森林産立地論				
基盤教育科目 農学の基礎を学ぶ 現代社会で活躍する人のリテラシーを培う 他とく深い知識と豊かな人間性を養う		林産学分野	森林工学 砂防工学	森林土木学 森林機械学 治山砂防計画法	森林作業学 森林水文学 森林土木学実習 森林工学実習 砂防工学実習	森林資源利用学 森林資源利用学実習 樹木組織学実修 II			
		林産学 II	木材製造学 森林化学 木材材料学	樹木組織学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実習	森林資源利用学 森林資源利用学実習 樹木組織学実修 II				
基盤教育科目 農学の基礎を学ぶ 現代社会で活躍する人のリテラシーを培う 他とく深い知識と豊かな人間性を養う		森林科学 I	国際森林科学論 基礎実習	林産学実修 森林(付加) I	森林計測学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実習	森林計測学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実修 II			
		樹木学 樹木学実習 森林基礎化学	森林基礎力学 森林基礎経済学 基礎統計学 森林測量学 I 森林測量学 I 実習	樹木組織学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実習	森林資源利用学 森林資源利用学実習 樹木組織学実修 II				
		新入生セミナー 農業と環境の科学 農学部コア実習	森林基礎生物学 森林基礎力学 森林基礎経済学 基礎統計学 森林測量学 I 森林測量学 I 実習	樹木組織学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実習	森林資源利用学 森林資源利用学実習 樹木組織学実修 II				
		生物資源の科学	森林基礎生物学 森林基礎力学 森林基礎経済学 基礎統計学 森林測量学 I 森林測量学 I 実習	樹木組織学 森林化学実習 木材材料学実習 樹木組織学実習	森林資源利用学 森林資源利用学実習 樹木組織学実修 II				
		Integrated English IA Integrated English IB 情報処理基礎 スポーツと健康	Advanced English I	Advanced English I	Advanced English I	Advanced English I			
		基礎教育教養科目：人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・健康科学系科目・初級外国語系科目・総合系科目、基礎キャリア教育科目							